

インドの首都ニューデリーに隣接するビジネス拠点都市グールガオンで、日本人出張者に和のおもてなしを提供する日本式ホテル「ダイヤパークプレミア」の総支配人を務める。「日本人はインドでの仕事や生活で苦労が多い。くつろげる場所になればと話す。ホテルは、日本で不動産事業などを展開する「日立ライフ」(茨城県日立市)の現地法人が運営する。日立グループの出張者が、気候や食べ物、違うインドで体調を崩す

人が世界が舞台

石井 謙二さん 60

1人が目立ったことから、「インド出張者をサポートする宿泊施設」と、2010年に進出した。既存のホテル所有者からホテルを丸ごと借り、日本人向けの営業やサービス提供を行う。同グループ社員以外も利用できる。オープンしたホテルは52室。日本企業の進出加速の時期と重なり、利用者が殺到し



インドに日本式ホテル

■ 総支配人「日本語、和食、風呂」評判に

略歴 茨城県出身。大学卒業後、日立ライフ入社。日立製作所でブランド関連の設計などにもかかわった。2012年4月から単身赴任で現職。日曜日は車を問わず徒歩と地下鉄で出勤し、街並みの変化を確認するのが習慣になっている。

くつかのホテルを泊まり歩いて理想の物件を絞り、空港に近い94室のホテルの所有者と交渉。契約が成立し、昨年12月に新生オープンを果たした。

サービスの基本は「日本語、和食、風呂」だ。日本人スタッフを配置し、予約や相談に日本語で対応する。日本料理のレストランには日本人調理師が常時4~5人いて、日本と変わらない味を守る。ポイ

ラーを追加して設置した大浴場は、「シャワーが中心のインドで、日本人らしいリフレッシュができる」と評判だ。出張者だけでなく、インドの在留邦人にも利用してもらおうと、様々なイベントを行っている。クリスマスパーティーや餅つき、日本人パティシエによるパン作り教室を開催。子供たちを集め、ペットボトルで作ったロケットも飛ばした。「日本人同士の交流に貢献するの、日本式ホテルの役割だ」と語る。

最近、日本人に加え、中国や韓国のビジネスマンやインド人の利用が増えているという。「日本人が懸念する空間は、外国人にとっても落ち着ける雰囲気があるのではないだろうか」。インドで評判が高まる「日本式」の魅力に、さらなる磨きをかける意気込みだ。(ニューデリー 田原徳容、写真も)

YOMISAT ヨーロッパ

欧州国際版購読申し込み・問い合わせ先
OCSロンドン ☎020 7640-3999 OCSフランス ☎01 4945-8105

欧州総局・ロンドン支局 ☎7236-2253
パリ支局 ☎4494-9494
ベルリン支局 ☎2045-2600

ブリュッセル支局 ☎285-0868
ジュネーブ支局 ☎733-5138
ローマ支局 ☎482-1835
モスクワ支局 ☎981-4110

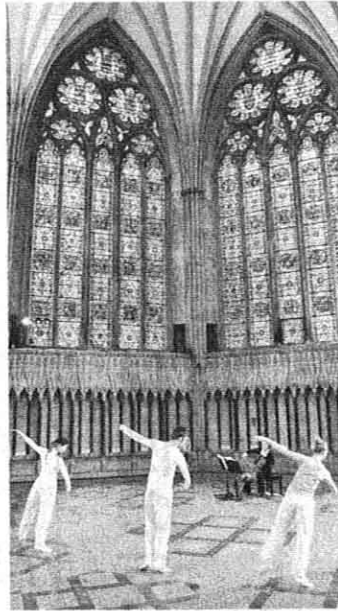
幻想ダンス 次々創作

英国の職人芸

ロンドン東部ダールストンにダンススタジオを構えるジャッキー・ランズリーさん。ロイヤル・バレエ団のダンサーを経た後、振付師として30年以上のキャリアを持つ。映画や舞台など英国のアーティストで活躍し、1970年代の急進的芸術家集団で新しいダンスの運動を作ったと言われるロンドンの「X6」の創始者のひとりでもある。

クラシックバレエの動きと前衛的な構成を取り混ぜた作風が特徴。ロイヤル・オペラハウスで上演した近年の作品は、白い衣装に身を包んだダンサーたちがパツパツやシューベルトの組曲に合わせ、整然とバレエ風の動きを見せる一方で、頭上に乗せた座布団を衣装の中にしまおうといったモダンな動作をこなす。展開する風景は幻想的だ。

振付師 ジャッキー・ランズリーさん



ヨーク大聖堂で昨年行われたランズリーさん作のショー (ランズリーさん提供、©Ellie Keeble)

鏡を張りめぐらしたスタジオで振り付けをイメージするランズリーさん (南崎智子撮影)



を舞台に使った演技も制作した。

ロンドンっ子のランズリーさんは、母親の方針で、妹と一緒にロンドン近郊の寄宿制の舞台芸術学校で学んだ。授業は演技、歌唱、民族舞踊、タップダンス、モダンダンス、バレエ、社交ダンスなどからなる。「感情を表現する演技をはじめとして様々な要素を学んだ

り付けに向かった。当時の振付師の世界は完全に男性優位。自分に機会が与えられそうな空気ではなかった。ケガをしてバレリーナとして生きていくことは難しいだろうとも考え始めていた。

そんな19歳のころ、ロンドンにモダンダンスの新しい学校ができた。奨学金を得て入学。新しいダンスの世界で、もう一度学生になった。振り付けについて学ぶ機会が与えられたのは、ここでのことだった。

自分を表現するのに「作家」という言葉をよく使うという。「振り付けは新しい言葉を見つけたもの」だと考えるからだ。

規律正しい古典の世界から始め、70年代のヒッピー文化にもどっぷりとつかった。それが自分の感性の一部になっている。

「歌や踊りは、人が集まれば自然に始まるもの。人間の深いところに根ざしている」と確信している。それが証拠には、創作のアイデアはいつも泉のようにわき上がってくる。

(南崎智子)

[Jackie Lansley]
ダンス・スタジオの貸し出しや各種コースなど照会には☎020-7613-0341、またはwww.jackylansley.co.ukへ。